

望月優子 Yuko MOTIZUKI

● Profile ●

- 理化学研究所 仁科加速器科学研究センター 雪氷宇宙科学研究開発室・室長。埼玉大学大学院連携教授。
- 公益社団法人日本天文学会前副会長、現在は理事。
- 博士(理学)(東京大学)(1998年)。博士論文のテーマは、中性子星の内部(超流動と原子核)について。
- 専門は宇宙物理学と雪氷学。特に宇宙における元素合成に関する研究、南極のアイスコアを用いた過去の気候変動と太陽活動との関係や、銀河系内超新星爆発の痕跡の研究。
- 2017年「湯浅年子賞金賞」、2014年文部科学省「ナイスステップな研究者 2014」、2011年国際学術連合南極科学委員会国際会議ベスト・オーラル・プレゼンテーション賞など受賞。
- 理研サイエンスビデオ『元素誕生の謎にせまる』(日本語版/英語版)のシナリオ著作および制作により、文部科学大臣賞など複数受賞。
- 国内外の理科教育への貢献により、国際天文学連合(IAU)にて“Yukomotizuki”と命名された小惑星がある。



● Abstract ●

南極大陸にある日本の「ドームふじ基地」で掘削されるアイスコア（円柱状の氷の試料）には、過去の地球の気候変動や宇宙からの情報が保存されています。過去の太陽活動、地球の気候変動と太陽活動との関係、また私たちの天の川銀河で過去に起きた、星が生涯の最後に起こす超新星爆発の候補となるシグナルなど、ドームふじのアイスコアに刻まれた宇宙と地球の歴史をひもといて、私たちと宇宙とのつながりについて一緒に考えます。